

## 生鮮品の対面販売に力 八百鮮が名古屋に小型店



生鮮食品が並ぶ八百鮮名古屋北店＝名古屋市  
北区

バローグループで生鮮食品スーパーを運営する八百鮮(大阪市、市原敬久社長)は17日、名古屋市北区に八百鮮名古屋北店をオープンした。売り場面積350平方メートルの小型店舗で市場のよ

うな雰囲気の対面販売に力を入れ、年間10億円の売り上げを計画する。八百鮮として7店舗目、名古屋市内で2店舗目の出店となり、ホームセンターコーナン店内にテナントとして開設した。精肉、鮮魚などの生鮮食品は、基本的に在庫を持たず、仕入れた商品をその日のうちに売り

尽くすことを目指す。商圏は店舗から半径3キロ以内を想定。折り込みチラシを原則出さず、常に低価格で商品を販売するEDLP(エブリデー・ロー・プライス)店舗として運用する。

バローホールディングスの田代正美会長兼CEOは「ホームセンターが売り場面積を縮小する流れが続き、八百鮮のような小型生鮮食品店が開設しやすい物件が多く出てくる」と指摘。その上で「八百鮮の出店増加と、同業他社をバローグループに加えることの両方をやっていく」と語った。